

## 第4 1回香川マスターズ陸上競技選手権大会実施要項

- 1 主 催 香川マスターズ陸上競技連盟  
2 主 管 (一般財団法人)香川陸上競技協会・香川マスターズ陸上競技連盟  
3 後 援 香川県教育委員会・四国新聞社・(公益社団法人)日本マスターズ陸上競技連合  
4 会 場 屋島レクザムフィールド (高松市立屋島競技場 室内棒高跳競技場)  
5 日 時 2022年6月12日 (日) 10:00~17:00 ※ 雨天決行  
6 競 技

(1) 年齢基準 2022年6月12日を基準とした満年齢による。

年齢区分 男女とも5歳刻み ※M-24・W-24は18歳以上で学連登録者を除く

男子 M-24, M25, M30, M35, M40, M45, M50, M55, M60  
M65, M70, M75, M80, M85, M90, M95, M100以上

女子 W-24, W25, W30, W35, W40, W45, W50, W55, W60  
W65, W70, W75, W80, W85, W90, W95, W100以上

(2) 参加資格 男女とも2022年6月12日を基準とした満年齢とし、2022年度各都道府県及び日本マスターズ陸上競技連合登録者で日本陸連登録者に限るとする。  
香川マスターズ陸上競技連盟の登録者以外はオープン参加とする。

(3) 種 目 (但し年齢により一部制限条項あり。)

① 男子共通21種目 60m, 100m, 200m, 400m, 800m, 1500m, 3000m, 5000m, 80H (70歳以上), 100H (50~69歳), 110H (49歳以下), 200H (80歳以上), 300H (60歳~79歳), 400H (59歳以下), クラス別4×100mR 走高跳, 棒高跳, 走幅跳, 三段跳, 立五段跳, 砲丸投, 円盤投, やり投, ハンマー投げ

② 女子共通20種目 60m, 100m, 200m, 400m, 800m, 1500m, 3000m, 5000m, 80H (40歳以上), 100H (39歳以下), 200H (70歳以上) 300H (50歳~69歳), 400H (49歳以下), クラス別4×100mR 走高跳, 棒高跳, 走幅跳, 三段跳, 立五段跳, 砲丸投, 円盤投, やり投, ハンマー投げ

(4) 競技日程 (参加者の人数によって変更あり)

※当日は7:00~9:30は競技場を生徒等に開放するため混雑が予想されるので安全面に留意する。

日程が決定次第、香川マスターズ陸上競技連盟のHPに掲載する。

8:00 選手受付開始 (1階 エントランスホール入口)

9:30 開始式 (放送で行う。)

10:00 200mH,300mH,400mH

10:10 立五段跳 円盤投

10:30 1500m

11:00 棒高跳 (室内)

11:10 60m

11:50 砲丸投

12:00 800m

12:00 走幅跳

12:40 100m

13:30 3000m

13:30 走高跳 ハンマー投げ

14:00 80mH,100mH,110mH

14:30 200m

15:10 5000m

15:00 三段跳 やり投

15:50 400m

16:20 クラス別4×100mR

7 出場制限 1人4種目以内(リレーを除く)

8 参加料 個人: 1種目2,000円 2種目3,000円 3種目4,000円 4種目5,000円 リレー1チーム2,000円

9 申込方法

(1) 「郵便振替払込取扱票」に必要事項①連合登録番号 ②日本陸連ID番号 ③氏名 ④氏名フリガナ

⑤生年月日 ⑥満年齢 ⑦年齢クラス ⑧申込種目 (リレーの希望も記入) ⑨現住所 ⑩連絡先電話番号を記入の上、必要額を払い込むことで申込みを完了とする。振込料は本人負担とする。リレーの参加料は当日代表者が受付時に支払う。

(2) 郵便振替口座番号 01610-2-111643 「香川マスターズ陸上競技連盟」

(3) 申込期日

**2022年5月12日 (木) の締め切り日までに必着のこと**

(4) 問い合わせ 大会申込事務局

〒761-0104 高松市高松町1861-12 村上 充方 Tel&Fax: 087-841-5951 携帯: 090-2899-5795

10 競技方法・規則等

## (1) 競技方法

- ① 男女共5歳毎の年齢クラス別競技会とするが、申込人員の状況により複数クラスが同時に実施する場合もありえる。
- ② トラック競技についてはすべてタイムレース決勝とする。
- ③ 400m以下のスタートについてはスターティングブロックを使用すること。但し、80歳以上のクラスはスタンディングスタートが認められるのでスタート前にブロックを使用しない旨を出発係に申し出ること。
- ④ 競技の運営上、3000mは**25分**5000mは**35分**を制限時間として競技を終了する。
- ⑤ フィールド競技は**試技3回の決勝**とする。(ただし棒高跳と走高跳は除く)
- ⑥ トラック競技とフィールド競技が重なった場合はトラック競技を優先とする。
- ⑦ 棒高跳は室内棒高跳競技場で実施する。(室内競技場のため記録は室内記録としてのみ公認記録になる。)
- ⑧ 三段・立五段の踏切地点は男子7m, 9m, 11m, 13m女子5m, 7m, 9mとする。
- ⑨ 立五段跳において踏切は両足を揃え、左右交互の足で跳躍し、着地は両足を揃える。
- ⑩ リレー出場者は必ず、他の種目を1種目以上のエントリー者から選抜する。年齢の高い者が年齢の低いクラスの走者として走ることができるが、少なくとも2名は当該クラスであること。
- ⑪ リレー競争においては、チームの出場者は同一のユニフォームを着用する。

## (2) 競技規則・招集

- ① 2022年度日本陸上競技規則・2022年度日本マスターズ陸上競技規則及び本大会で定めた規則を準用する。
- ② 競技用の靴底は11本以内のスパイク、長さは9mmを超えてはならない。またやり投の場合は12mmを超えてはならない。靴底の厚さにおいては各種目で最大の厚さが異なるので各自で確認する。
- ③ 投てき用具は競技場備え付けの用具を使用する。
- ④ 招集場所は競技場の北東隅に(本競技場と補助競技場の間)設ける。競技者は、招集開始時刻までに招集場に掲示してある出場競技者一覧表に、本人または代理人がチェックする。招集完了時刻は、トラック競技は競技開始20分前、フィールド競技は競技開始40分前とする。
- ⑤ 最終コールは、招集完了時刻の5分前より行う。必ず本人が応じアスリートビブス(ナンバーカードとは呼ばなくなった)を係員に見せること。トラックは召集所、フィールドは競技場所で行う。
- ⑥ 2種目以上を兼ねて出場する場合において、競技進行の状況により最終コールができない恐れがある時は最初の競技の招集開始時刻までに召集所において「**多種目同時出場届**」を提出するとともに、競技開始前に次の種目の出場に出場する旨を競技者係に申し出る。
- ⑦ リレーオーダー表は14:00までに提出、提出後の選手変更は認めない。
- ⑧ 競技を棄権する場合には、招集開始時刻までに召集所において「**棄権届**」を提出すること。
- ⑨ 招集に応じない場合は、その種目を棄権すると見なし処理する。

## 11 表彰

- ① 各年齢クラス別、各種目別の上位3名に賞状を授与する。
- ② オープン参加者は順位に入れず表彰はしない。記録は公認される。

## 12 その他

- (1) アスリートビブス(ナンバーカードとは呼ばなくなった)は都道府県番号と日本マスターズ連合登録番号とし、白布に都道府県番号と日本マスターズ登録番号を記入したものを各個人が用意し、大会当日ユニフォームの前後に付ける。但し、跳躍競技のアスリートビブスは、胸または背のどちらか1枚でもよい。
- (2) 事前に健康診断を受診するなどして、自己健康管理に十分留意して参加する。また、準備運動、整理運動は十分に行って出場する。(健康保険証またはそのコピーを持参して置けば安心)
- (3) 大会中の発生した事故については主催者側で応急処置するがそれ以上の責任は負わないので、その点を承知の上で参加する。また、当日に主催者側で1日スポーツ障害保険に加入している。
- (4) 個人情報に関しては、本大会の開催に係わる事務においてのみ使用する。
- (5) 記録証は、300円にて販売するので、必要な場合は受付まで申し出ること。(後日郵送する)
- (6) 以下の場合は大会を中止する。
  - ① 大会当日午前6時の時点で気象に関する警報が発令されている場合
  - ② 大会途中で気象に関する警報が発令された場合
  - ③ 新型コロナウイルスによる感染状況による場合
- (7) 大会が中止になった場合、原則参加料の払い戻しはしない。
- (8) 新型コロナウイルス感染状況により参加資格において制限を設ける場合がある。

## 13 コロナ感染対策

- (1) 大会に参加する全ての者は、「**体調チェックシート**」(日本陸連様式)を**受付時に提出**すること。
- (2) **受付時に検温及び問診**を行う。発熱がある場合や体調不良の場合は大会への参加は認めない。
- (3) 競技者は競技中およびウォーミングアップ時以外は必ずマスクを着用し、応援は声を出さず拍手で行うこと。
- (4) 本大会は**有観客**とするが、観戦はマスクを着用した上で密接を避け、応援は声を出さず拍手で行うこと。